

地域おこし協力隊 活動状況報告



森林公園でパラグライダー

こんにちは！地域おこし協力隊の小松です。浦幌町に移住して、2年目となりました。顔見知りの方も少しずつ増えてきて、そこかしこで出会う人と交わす挨拶が地域での暮らしの楽しみです。気付かれていません…。

そんなこんなで、浦幌町に慣れてきたのかな？と実感する日々ですが、協力隊としての活動もますます頑張っていかなければ！というところです。

最近よく聞かれるのが、僕の任期修了後のこと。うらほろスタイルの若者のしごと創造事業担当として着任している協力隊の森さんは、4月からハマナス化粧品の発

売が始まって、また、同じく協力隊だつた三村さんは5月で協力隊修了と同時に起業して、TOKO URO Lab(旧常室小学校)を中心に入材育成事業や交流事業を

手がけられています。

一方で僕は、観光業での起業を目指しています。旅行業の資格を取り組んでいきたいと考えています。

起業する時期はまだ未定ですが、今できることから行動してみようと思っています。森林公園でのパラグライダー体験を観光コンテンツとして取り組めないかと関係者の方々と計画をたてたり、着地型観光の開発に取り組む「うらほろ観光おもてなし協議会」の活動に関わらせていただいています。

7月には浦幌町内を散策する「フットバスツアー」、お正月には十勝太から初日の出を拝む「初日の出ツアーア」を企画しています。それぞれ参加募集が始まりましたら、お知り合いへの周知にご協力いただけますと、とてもありがたいです。また、みなさまの参加も大募集していますので、お申し込みお待ちしております！

た子どもたちがこの町で働きたいという選択肢を持つてもらえるようにということを心において、努力していきたいです。

それでは、また今年も地域おこし協力隊として頑張ってまいりますので、浦幌町のみなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。



協力隊と仲間たち

地域おこし協力隊 小松 輝（こまつひかる） 若者のしごと創造事業担当

徳島県出身。2017年3月に徳島大学を卒業した後に、4月より浦幌町地域おこし協力隊として働く。先日は、浦幌町林産振興会主催の「しいたけのホダ木作り」に参加しました！浦幌町にいると、色んな体験が目白押しで休日が充実しています。



- 地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ

☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chikiokoshi>

浦幌新聞第40号

～平成19年度の中学生からの提案を受け道教育大訓路校の学生と地域おこし協力隊の立野里奈さん、平川貴史さんが共同で制作しています～

今回の播種は学校敷地内
の
うち
約
2・5
kg
の種を蒔きま
す。
約
2・5
kg
の種を蒔きま
す。
約
2・5
kg
の種を蒔きま
す。

した。残りの畑のうち40
mでは、選択作物として、
タマネギ、カボチャ、ピーマ
ンなど6種類ほどの野菜を

4月24日(火)に上浦幌中学校で「知愛の時間」に小麦の播種が行われました。上浦幌学園(上浦幌中央小学校・上浦幌中学校)では総合的な学習の時間を使い、年間を通して上浦幌地域の農業について理解を深める授業を行っており、その時間を「知愛の時間」と呼んでいます。



真剣な表情で取り組む



「まっすぐになつてゐるかな？」



みんなで種まき



「あと少し不甘ばれ！」

育てる予定で、それ以外の畑は緑肥として使うそうです。播種の指導は学校の先生だけでなくPTAや地域の方も行っていました。

時くための畝づくりから時いた種に土をかけるところまで一切機械を使わないで行いました。畝づくりはまつすぐに張ったロープに沿つて鍬で掘つていったの慣れない作業で疲れてしまふもの、楽しそうに作業をしている生徒が多くつたように見えました。また、「普段は機械でやっている様子を見ていたけど、本当に農業つてすごく体力がいる仕事なんだね」という声が生徒から聞こえてくるなど、楽しいだけじゃなく生徒たちの学びや気づきにつれていました。

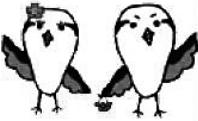
今回蒔いた小麦は8月に刈り取りが行われる予定です。刈り取りも含め、年間を取材させていただきながら、私たちを支える人たちのつながりを見ることができました。今回蒔いた小麦は8月に刈り取りが行われる予定です。刈り取りも含め、年間を取材させていただき、生徒たちと一緒に自分自身も成長していくべきたらと思います。

(浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史)

小麦播種

知愛の時間に

浦幌新聞

2018年(平成30年)
6月25日(月曜日)発行元
特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート

旧常室小学校で集合写真



「楽しんでるよー」

1・2年生は「徒歩遠足」。森林公園まで歩いて行き、公園のアスレチックで遊んでいました。歩いているときは、先生に声を掛けられながら通行人の邪魔にならないか、車が来ないかななど気にしながら歩いていました。公園ではうさぎにえさをあげたり、池に住んでいるオタマジヤクシなどの生き物を捕まえたりして観察していました。

3・4年生は「バス遠足」。

5月11日(金)に浦幌小学校で全校遠足が行われました。

「気づき」がいっぱい

浦幌小の全校遠足

5月11日(金)に浦幌小学校で全校遠足が行われました。



「たくさんつかまえたよ！」

目的地が音更町のハナツクだつたので、小学校からバスで移動しました。ハナツクでは鬼ごっこやボールで遊び、足湯に浸かって疲れをとっていました。

5・6年生は「自転車遠足」。自転車で旧常室小学校を目指しました。弁当や遊び道具を背負つての道中はなかなかハードで、険しい顔をして自転車をこいでいる子もいましたが、到着してからはそんな疲れはどうにいってしまったらしい。常室川の河原で釣りをしたり、川に入つて遊んだりしていました。

遠足全体を通して、自然の中で遊んでいる様子がとても印象的でした。低学年では、池の生き物を捕まえ



「行ってきます」

の人見たことがある!」と石を川に対してどの角度で投げると遠くまで飛ぶのか研究していました。釣りや水切りなどアクティブな楽しみ方以外に、川の水に触って温度を感じたり、河原に座つて友達と話をしたりするなど高学年らしい過ごし方をしているのも印象的でした。

取材をしている中で、「(浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史)」



「冷たくて気持ちいい！」



「足湯でピース」

るときに枯葉や泥も一緒にすぐつた方がたくさん生き物を捕まえられると気づいたり、観察する中で枯葉の塊だと思っていたものが実は生き物でびっくりしたりと楽しみながらたくさん生きた姿を見ることができました。

高学年では常室川で水切り合戦が行われ、どんな形の石を川に対してどの角度で投げると遠くまで飛ぶのか研究していました。釣りや水切りなどアクティブな楽しみ方以外に、川の水に触って温度を感じたり、河原に座つて友達と話をしたりするなど高学年らしい過ごし方をしているのも印象的でした。

人見たことがある!」と

言つてくれる子や「一緒に遊ぼうよ」と声をかけてくれる子がいて、少しづつ子どもたちに覚えてもらえて始めたことがうれしかったです。今後も学校行事などを通して子どもたちと関わり、少しでも子どもの成長に支援できるよう努力していくと思います。